

日本航空株式会社 2025年3月期 決算説明会



JAPAN AIRLINES



2025年5月2日
代表取締役副社長執行役員グループCFO 齋藤祐二
執行役員 弓崎雅夫



APEX WORLD CLASS
by Y15+
2025
APEX
WORLD CLASS



Best Wi-Fi in Eastern
Asia 2025 APEX"



SKYTRAX
2024年度
World's Best
Premium Economy Class



SKYTRAX
World Airline Star
Rating
5-Star



2024年度（第42回）IT賞
（オープンイノベーション領域）



Daiwa Investor Relations



SX銘柄2024



JAPAN OPEN
INNOVATION PRIZE

1. 2025年3月期 業績概要

2. 2025年3月期 業績詳細

3. 参考資料



健康経営優良法人
2025
EMKO Investment for Health
大塚製薬 部門
ホワイト500



SPORTS
YELL
COMPANY
2025



DX銘柄2024
Digital Transformation



CSS2024
CORPORATE STARTUP STARS

ESG社外評価



FTSE Blossom
Japan Index ※



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



Dow Jones Sustainability
Asia Pacific Index 3年連続選定

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ※ 女性活躍指数 (WIN)



気候変動「A-」評価
(2023年度)



当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(2) Q4(1月-3月)の実績はQ4累計実績(4月-3月)からQ3累計実績(4月-12月)を差し引いて算出しております。

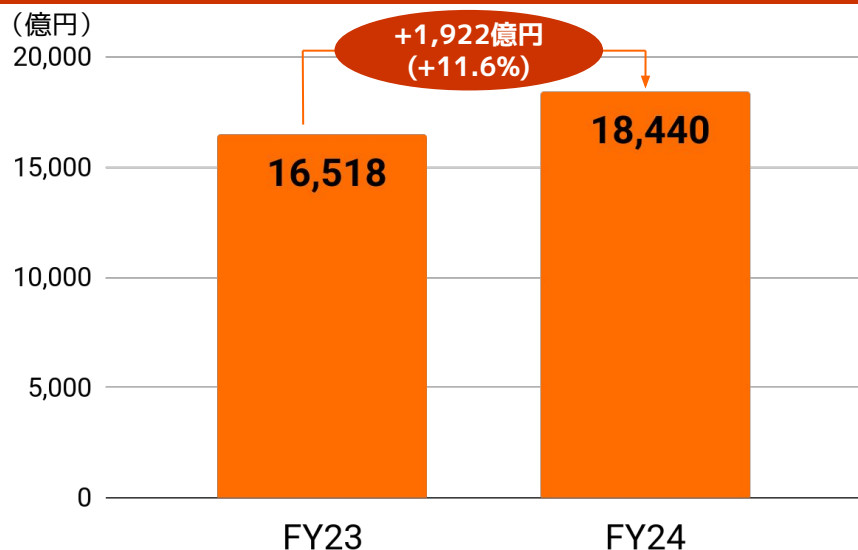
(3) LCC=Low Cost Carrier (4) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの

2025年3月期 連結業績概要

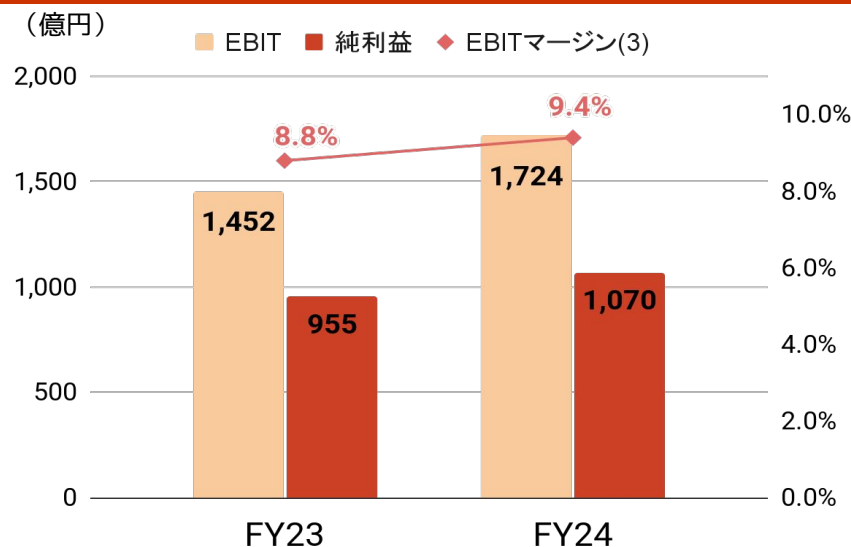


- ✓ 好調な国際旅客需要の確保、需要喚起施策による国内旅客取り込み、事業構造改革の進展により、対前年で増収増益となり、EBITは計画を上回った
- ✓ 期末配当案は1株当たり40円から46円に増配、年間配当案は86円（配当性向35%）

売上収益



EBIT⁽¹⁾/純利益⁽²⁾



燃油・為替市況実績

	FY23	FY24	前年同期比
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	103.2	93.5	▲9.4%
ドバイ原油 (USD/bbl)	81.9	79.5	▲2.9%
為替 (円/USD)	143.4	153.0	+6.7%

運航諸元/ASK

	FY24 (前年同期比)		
	国際線	国内線	合計
フルサービスキャリア	+5.6%	▲0.3%	+3.1%
LCC	+22.7%	▲40.2%	+18.7%
合計	+8.2%	▲0.9%	+4.7%

(1) EBIT=財務・法人所得税前利益 (税引前利益から利息等の財務収支を除いたもの) (2) 純利益=親会社の所有者に帰属する当期利益 (3) EBITマージン=EBIT/売上収益

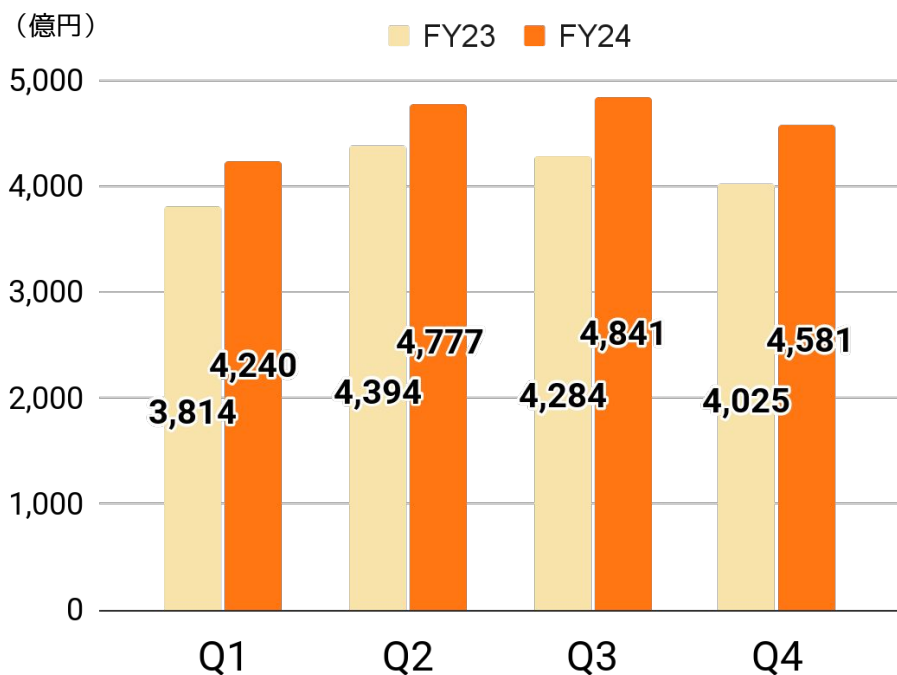
- 2025年3月期の売上収益は、引き続き好調な国際旅客事業や需要喚起施策により伸長した国内旅客事業、また、事業構造改革の進展により、前年度より1,922億円増加し、1兆8,440億円となりました。
- EBITにつきましては、先日発表いたしました予想より約24億円上回る1,724億円となりました。また、同じく純利益に関しましても予想より約70億円上回る1,070億円となりました。
- 今期末の配当案といたしましては、一株当たり40円としていたところ、配当性向を考慮し、46円に増配し、年間配当案は86円といたします。

各四半期の連結売上収益・EBIT推移

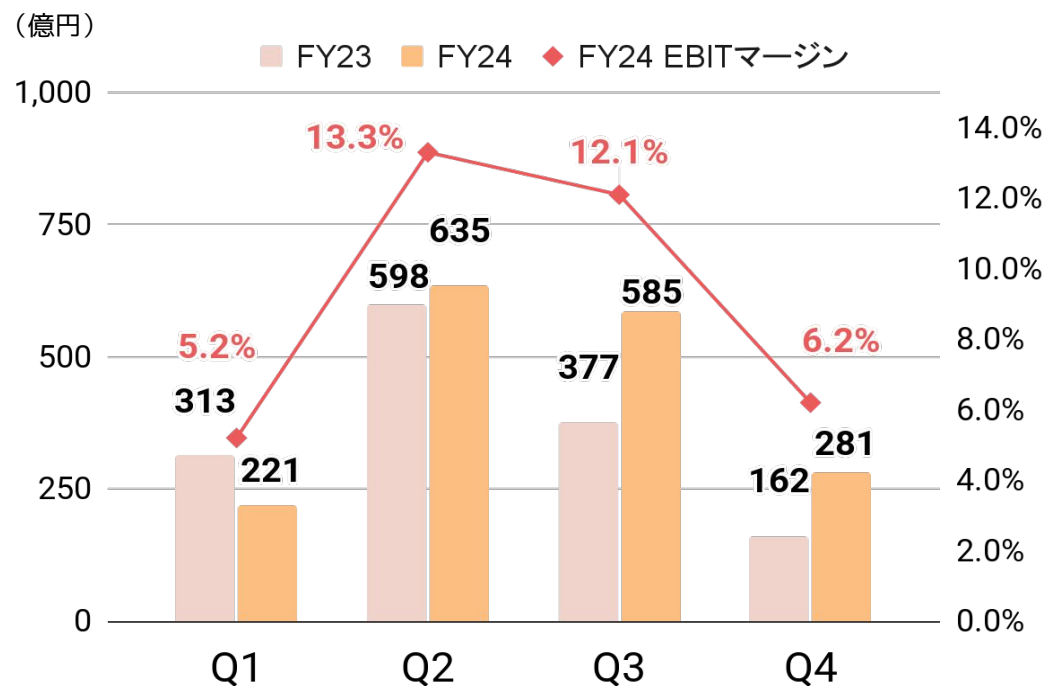


- ✓ 売上収益は全ての四半期で対前年増収、EBITは特に下期に前年を大きく上回る
- ✓ 第4四半期単独でも対前年で増収増益、EBITマージンは前年同期比で+2ポイント向上

売上収益



EBIT



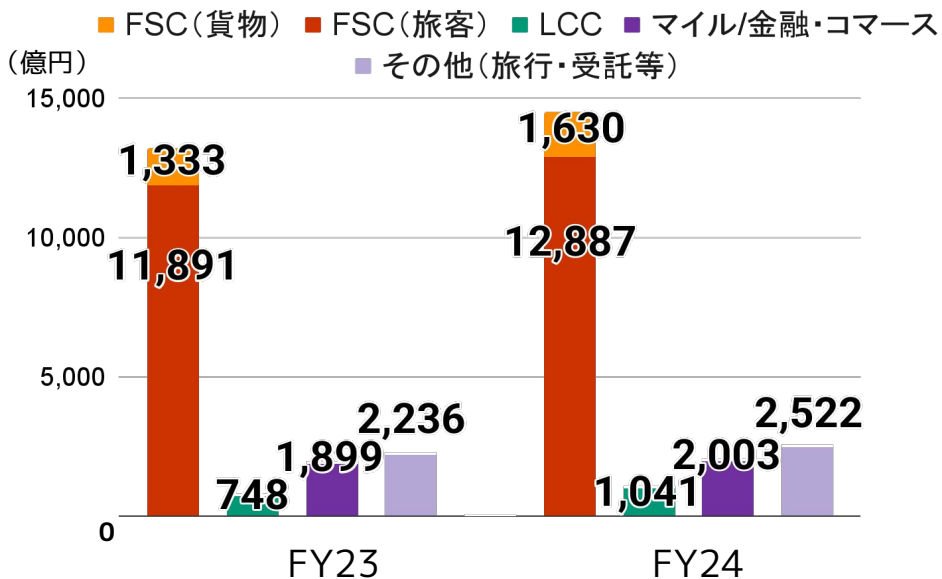
- こちらのページでは、各四半期の連結売上収益並びにEBIT推移について説明します。
- 売上収益は全ての四半期で対前年で増収となり、EBITは特に下期で増益となりました。
- 第4四半期単独での売上収益は4,581億円、EBITは281億円で増収増益となり、EBITマージンは対前年で2ポイント向上しました。

2025年3月期 セグメント別実績

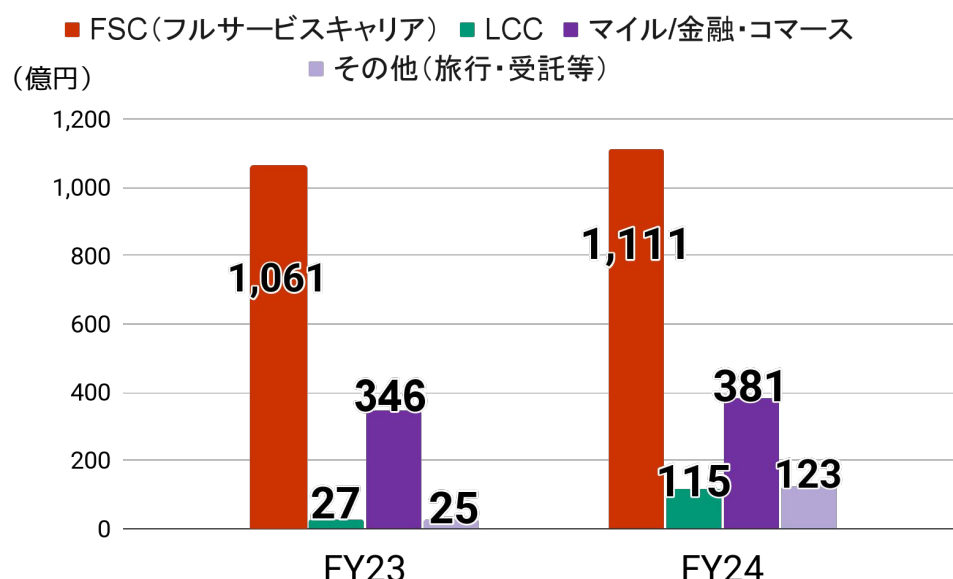


- ✓ 全セグメントにて対前年増収増益、事業構造改革の進展によりFSC以外の収入・利益が伸びる
- ✓ FSCは、好調な国際旅客需要の取り込み、国内旅客の需要喚起、貨物機の活用により業績伸ばす
- ✓ LCCは、ZIPAIRが引き続き好調、SPRING JAPANも中国需要の回復により通期黒字化
- ✓ マイル/金融・コマー스는コマー스事業、その他は受託事業がけん引

セグメント別 売上収益



セグメント別 EBIT



(単位：億円) FY24Q4単独	FSC (フルサービスキャリア)		LCC	マイル/金融・コマー스	その他 (旅行・受託等)
売上収益	3,183 (旅客)	379 (貨物)	268	492	667
前年同期差	+348	+65	+59	+24	+95
EBIT		124	29	76	50
前年同期差		+89	+14	▲7	+22

注. セグメント別実績における売上収益およびEBITはセグメント間連結消去前数値です。

- こちらのページでは、セグメント別の実績につきましてご説明します。
- 全てのセグメントにて増収増益を達成しました。事業構造改革の進展により、フルサービスキャリア以外の収入と利益が伸びております。
- フルサービスキャリア事業は、国際、国内旅客需要の取り込み、貨物機の活用により、業績を伸ばしております。
- LCC事業は、ZIPAIRが引き続き好調に推移するとともに、Spring Japanにつきましても中国需要の回復が見られたことにより、通期黒字化を達成しました。
- マイル/金融・コマース事業ではコマース事業が、その他事業では受託事業がけん引して業績を伸ばしております。



1. 2025年3月期 業績概要
2. 2025年3月期 業績詳細
3. 参考資料



INTENTIONALLY LEFT BLANK

2025年3月期 連結業績詳細

科目別連結経営成績



(単位：億円)	累計				単独		
	FY23	FY24	前年同期差	前年同期比	FY24Q4	FY23Q4	
						同期差	同期比
売上収益	16,518	18,440	+1,922	+11.6%	4,581	+556	+13.8%
フルサービスキャリア	13,237	14,499	+1,262	+9.5%	3,580	+439	+14.0%
国際旅客収入	6,223	6,963	+740	+11.9%	1,776	+270	+18.0%
国内旅客収入	5,508	5,715	+206	+3.7%	1,376	+92	+7.2%
貨物郵便収入	1,333	1,630	+297	+22.3%	379	+65	+20.7%
その他収入	171	190	+18	+11.0%	47	+11	+31.0%
LCC旅客収入	673	888	+215	+32.0%	233	+43	+22.8%
マイル/金融・コマー্স、その他(旅行・受託等)等(1)	2,608	3,052	+444	+17.0%	767	+73	+10.6%
営業費用	15,422	16,934	+1,511	+9.8%	4,397	+270	+6.6%
燃油費	3,567	3,800	+232	+6.5%	956	+50	+5.5%
燃油費以外	11,854	13,134	+1,279	+10.8%	3,441	+220	+6.9%
その他収支(2)	356	218	▲137	▲38.7%	97	▲166	▲63.0%
EBIT	1,452	1,724	+272	+18.7%	281	+119	+73.4%
EBITマージン(%)	8.8%	9.4%	+0.6pt	-	6.2%	+2.1pt	-
純利益	955	1,070	+115	+12.0%	159	+63	+65.5%
RPK(百万人キロ)	71,090	78,799	+7,709	+10.8%	20,382	+2,806	+16.0%
ASK(百万席キロ)	91,779	96,057	+4,278	+4.7%	23,820	+906	+4.0%
EBITDAマージン(%) (3)	17.7%	17.8%	+0.1pt	-	14.9%	+1.5pt	-

連結業績詳細は、全社連結科目別に表したものであり、報告セグメント別の売上収益ではありません。

(1) マイル/金融・コマー্স、その他(旅行・受託等)等=マイル提携・コマー্স・旅行・受託事業収入等 (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

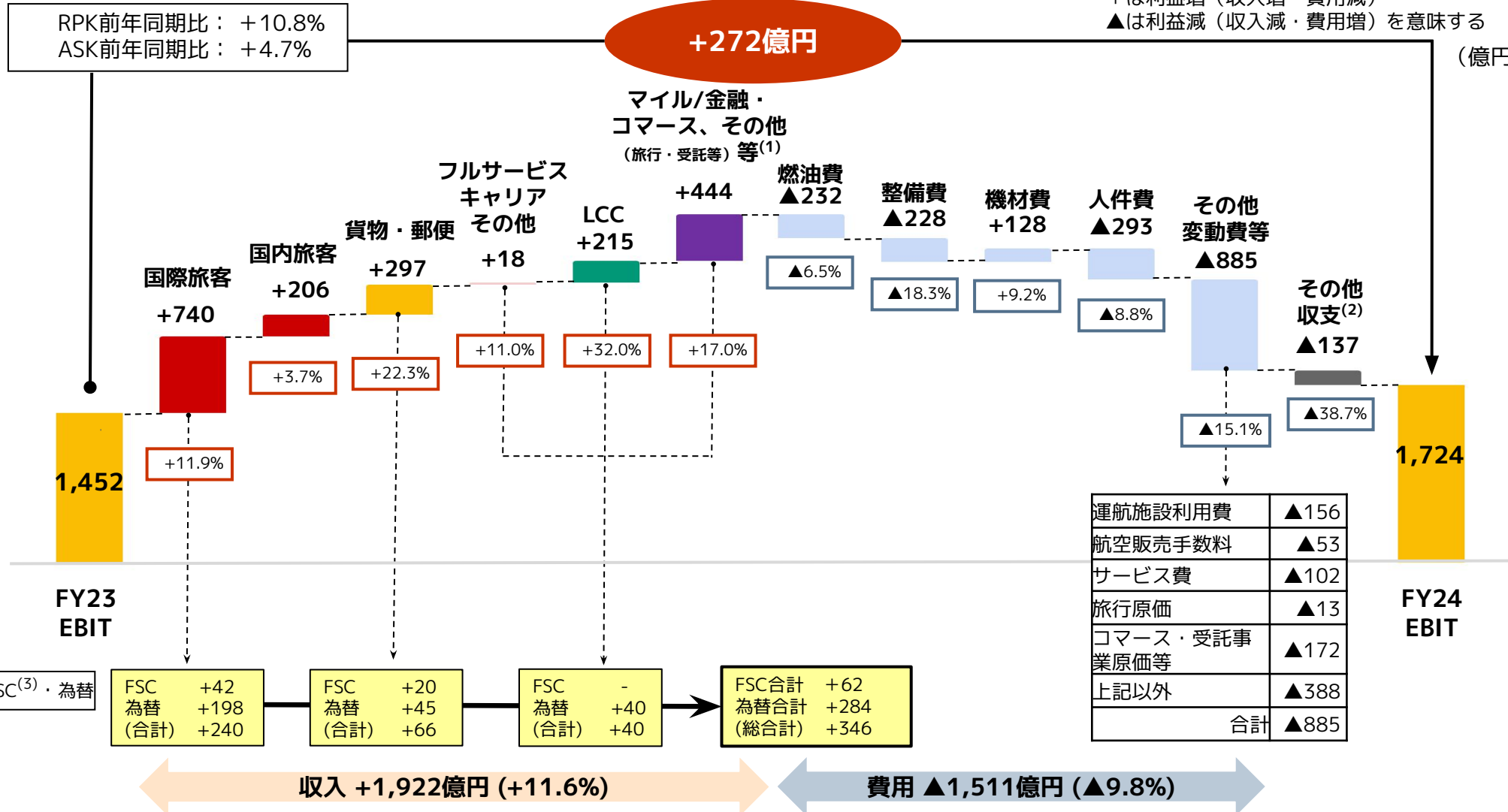
(3) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益 EBITDA=EBIT+減価償却費

- 以降のページでは、2025年3月期の詳細について説明いたします。
- 7ページでは連結経営成績の数字をお示しております。

2025年3月期 連結業績詳細

EBIT増減の科目別推移 (収入/費用)

+は利益増 (収入増・費用減)
 ▲は利益減 (収入減・費用増) を意味する
 (億円)



(1) マイル/金融・コマー্স、その他 (旅行・受託等) 等=マイル提携・コマー্স・旅行・受託事業収入等
 (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (3) FSC=Fuel Surcharge

- こちらのページでは、前年からのEBITの差の要因を収入と費用にわけてお示しております。
- 収入につきましては、国際、国内旅客や貨物郵便、LCC、マイル/金融・コマース、その他など、各事業セグメントにおいて収入が伸びた結果、前年より1,922億円の増収となりました。
- 費用につきましては、主に為替市況の影響で燃油費や整備費といった項目が増加しております。また、人的投資として、人件費につきましても前年度から増加させております。
- 加えて、旅客数および供給増に伴って、運航規模や旅客数に連動する費用やその他各種費用の増加がみられており、費用としては前年より1,511億円増加しました。
- 以上の結果、EBITは前年より272億円増加となりました。

2025年3月期 連結業績詳細

EBIT増減の推移 (市況/その他)



(億円)

+は利益増 (収入増・費用減)
▲は利益減 (収入減・費用増) を意味する

+272億円

うち為替影響 ▲129億円
 収入 +284億円
 費用 ▲413億円
 燃油費 ▲227億円
 燃油費以外 ▲186億円

(市況要素を除く影響額)

増収 +1,575
 他の費用等 ▲1,493

1,724

1,452

燃油以外
為替 +97

燃油
(ヘッジ除き) +78

燃油
サーチャージ +62

ヘッジ
損益等 ▲48

FY23
EBIT

FY24
EBIT

収入	+284
燃油以外費用	▲186
合計	+97

為替	▲227
燃油市況	+306
合計	+78

国際旅客	+42
国際貨物	+20
合計	+62

国際旅客	+499
国内旅客	+206
貨物郵便	+230
フルサービスキャリアその他	+18
LCC	+182
マイル/金融・コマース、その他 (旅行・受託等)等	+437
合計	+1,575

燃油搭載量等	▲262
整備費	▲139
運航施設利用費	▲145
サービス費	▲85
旅行原価	▲13
コマース・受託事業原価等	▲170
機材費	+130
人件費	▲280
上記以外	▲527
計	▲1,493

市況影響 +190億円

その他 +81億円

- こちらのページでは、前年からのEBITの差の要因を収入と費用にわけてお示しております。
- 25年3月期の市況につきましては、シンガポールケロシンが前年から9.4%下落した一方、為替市況につきましては昨年の143.4円から153.0円への円安となりました。
- これらの市況影響は前年より190億円のEBIT押し上げ要因となりました。また、市況影響を除いた影響は81億円のEBIT押し上げ要因となりました。
- 結果として、前年度から272億円のEBIT増加となっております。

2025年3月期 連結業績詳細

国際旅客（フルサービスキャリア）



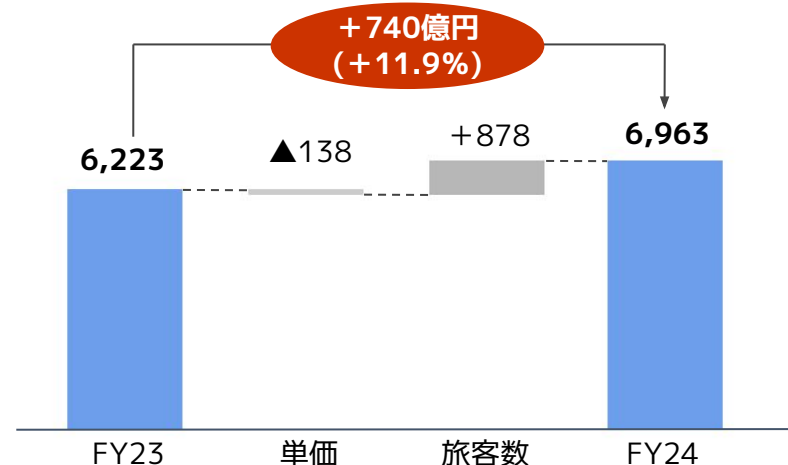
✓ インバウンド需要の増加と日本発業務需要の緩やかな回復により、前年を上回る収入を確保

国際旅客事業の状況

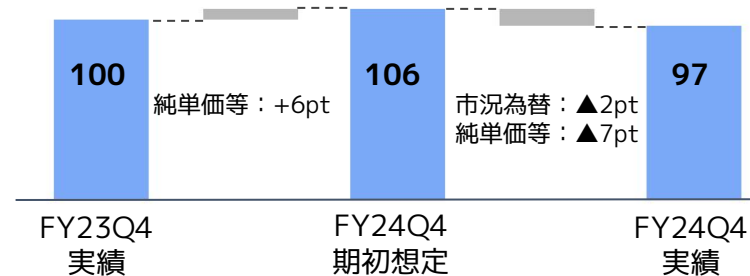
国際旅客事業	累計			単独	
	FY23	FY24	前年同期比	FY24Q4	前年同期比
旅客収入（億円）	6,223	6,963	+11.9%	1,776	+18.0%
有償旅客数（千人）	6,628	7,584	+14.4%	2,027	+21.1%
RPK（百万人キロ）	37,201	41,916	+12.7%	10,917	+20.3%
ASK（百万席キロ）	47,328	49,971	+5.6%	12,524	+6.6%
有償座席利用率（%）	78.6%	83.9%	+5.3pt	87.2%	+9.9pt
単価（円）(1)	93,897	91,814	▲2.2%	87,647	▲2.6%
イールド（円）(2)	16.7	16.6	▲0.7%	16.3	▲1.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	13.1	13.9	+6.0%	14.2	+10.7%

- (1) 単価 = 旅客収入 / 有償旅客数
 (2) イールド = 旅客収入 / RPK
 (3) ユニットレベニュー = 旅客収入 / ASK

国際旅客収入の推移（億円）



Q4単独実績単価変動 (FY23Q4実績 = 100)



- こちらのページではフルサービスキャリア国際旅客事業の実績をお示しております。
- 国際旅客については、旺盛なインバウンド需要や回復傾向にある日本発需要を取り込んだ結果、2025年3月期旅客数は前年から14.4%増加しました。これにより有償座席利用率は前年から5.3ポイント伸び、83.9%となりました。
- 単価は前年より若干下落したものの、以上の結果として国際旅客収入は前年より11.9%増加の6,963億円となりました。

2025年3月期 連結業績詳細

国内旅客（フルサービスキャリア）



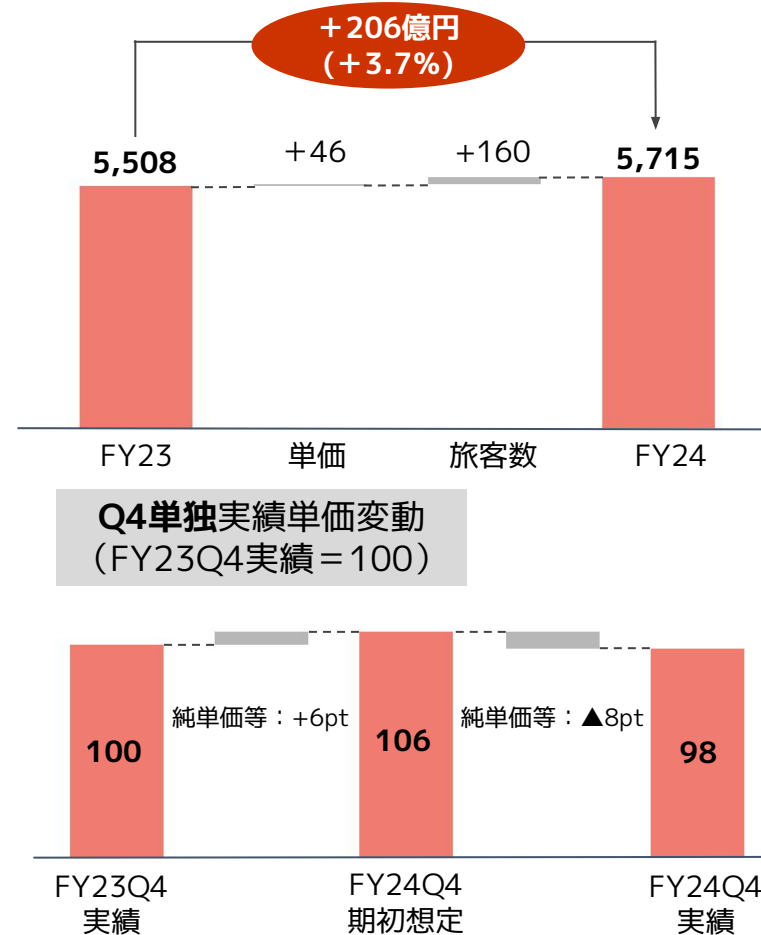
✓ 有償座席利用率が高まる中、レベニューマネジメントの強化に取り組み、前年を上回る収入を確保

国内旅客事業の状況

国内旅客事業	累計			単独	
	FY23	FY24	前年同期比	FY24Q4	前年同期比
旅客収入（億円）	5,508	5,715	+3.7%	1,376	+7.2%
有償旅客数（千人）	35,109	36,127	+2.9%	9,229	+9.0%
RPK（百万人キ口）	26,771	27,666	+3.3%	7,114	+8.4%
ASK（百万席キ口）	35,184	35,082	▲0.3%	8,584	▲0.4%
有償座席利用率（%）	76.1%	78.9%	+2.8pt	82.9%	+6.7pt
単価（円）(1)	15,690	15,819	+0.8%	14,913	▲1.7%
イールド（円）(2)	20.6	20.7	+0.4%	19.3	▲1.1%
ユニットレベニュー（円）(3)	15.7	16.3	+4.0%	16.0	+7.6%

- (1) 単価=旅客収入/有償旅客数
 (2) イールド=旅客収入/RPK
 (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

国内旅客収入の推移（億円）



- こちらのページではフルサービスキャリア国内旅客事業の実績をお示ししております。
- 有償座席利用率が高まる中、レベニューマネジメントの強化に取り組み、前年を上回る収入を確保いたしました。
- 2025年3月期の旅客数につきましては前年より2.9%増加し、座席利用率が78.9%と高い水準で推移しました。単価に関しては前年から0.8%増加となりました
- 結果、2025年3月期の国内旅客収入は前年から3.7%増加の5,715億円となりました。

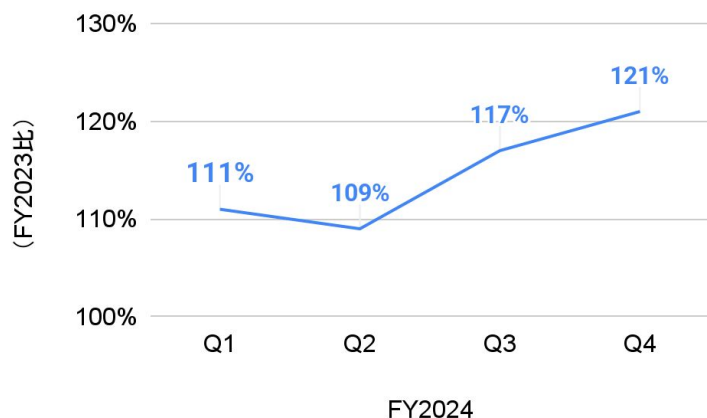
2025年3月期 需要動向・今後の見通し

国際・国内旅客（フルサービスキャリア）

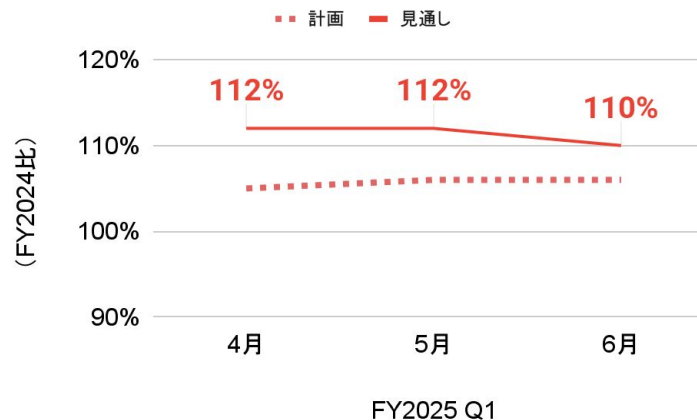
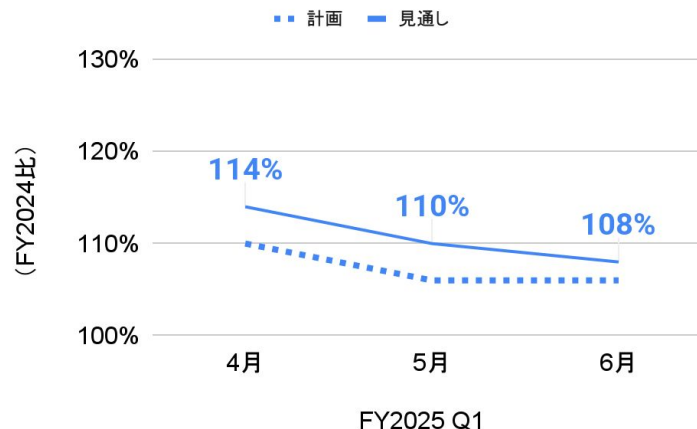


- ✓ 国際旅客は、旺盛なインバウンドを中心に高需要が継続し、前年・計画ともに上回る見通し
- ✓ 国内旅客は、需要喚起継続と間際需要の確実な取り込みにより、前年・計画ともに上回る見通し

旅客数 FY2024実績 (FY2023比)



旅客数 FY2025 Q1見通し (FY2024比)



- こちらのページでは国際線、国内線の旅客数の需要動向と今後の見通しをお示ししております。
- 国際旅客は、旺盛なインバウンドの強い需要が継続し、FY2025 Q1の見通しは前年対比110%前後の水準を見込んでおり、計画を上回る見通しです。
- 国内旅客は、需要喚起施策の継続と間際需要の取り込みにより、FY2025 Q1の見通しは前年対比110%前後の水準を見込んでおり、計画を上回る見通しです。

2025年3月期 連結業績詳細 貨物



- ✓ 国際貨物は、自社貨物機のネットワークを拡充。中国・アジア発北米向け貨物や医薬品等の高付加価値貨物の獲得を強化し欧米向けの単価を向上、大幅な増収を達成
- ✓ 国内貨物は、貨物機就航等による新規需要の獲得に努め、大幅な増収を達成

国際貨物事業	累計			単独	
	FY23	FY24	前年同期比	FY24Q4	前年同期比
貨物収入（億円）	1,003	1,233	+22.9%	289	+21.6 %
有効貨物トンキロ（百万）	4,212	5,252	+24.7%	1,300	+23.9 %
有償貨物トンキロ（百万）	2,515	2,767	+10.0%	661	+7.9 %
貨物輸送重量（千トン）	425	512	+20.4%	122	+15.3 %
重量単価（円/kg）	236	241	+2.1%	236	+5.5 %

国内貨物事業	累計			単独	
	FY23	FY24	前年同期比	FY24Q4	前年同期比
貨物収入（億円）	195	279	+42.7%	63	+40.1%
有効貨物トンキロ（百万）	1,621	1,679	+3.6%	406	+1.7 %
有償貨物トンキロ（百万）	282	305	+7.9%	70	+5.9 %
貨物輸送重量（千トン）	300	328	+9.2%	75	+8.3 %
重量単価（円/kg）	65	85	+30.6%	84	+29.3 %


- こちらのページでは貨物事業の業績をお示ししております。
- 国際貨物は、貨物専用機を活用して需要が旺盛な中国やアジアからの北米向け貨物や医薬品などの高付加価値貨物獲得することで、輸送重量、重量単価、貨物収入ともに前年より伸ばすことができました。
- また、国内貨物に関しましても、前年対比増収となっております。


2025年3月期 連結業績詳細

LCC



- ✓ ZIPAIRは、新たに就航したヒューストン線を含め、引き続き好調に推移
- ✓ SPRING JAPANは、前年対比で大きく収入を伸ばし、通期で黒字化を達成

ZIPAIR 	累計			単独	
	FY23	FY24	前年同期比	FY24Q4	前年同期比
旅客収入（億円）	540	685	+26.8%	168	+13.3%
有償旅客数（千人）	1,130	1,355	+19.9%	336	+12.4%
RPK（百万人キロ）	6,215	7,718	+24.2%	1,900	+16.0%
ASK（百万席キロ）	7,979	9,106	+14.1%	2,158	+0.8%
有償座席利用率（%）	77.9%	84.8%	+6.9pt	88.0%	+11.5pt
単価（円）(1)	47,847	50,565	+5.7%	49,963	+0.8%
イールド（円）(2)	8.7	8.9	+2.1%	8.9	▲2.3%
ユニットレベニュー（円）(3)	6.8	7.5	+11.1%	7.8	+12.4%

SPRING JAPAN 	累計			単独	
	FY23	FY24	前年同期比	FY24Q4	前年同期比
旅客収入（億円）	132	203	+53.2%	65	+56.5%
有償旅客数（千人）	845	1,012	+19.8%	274	+4.2%
RPK（百万人キロ）	902	1,498	+66.1%	450	+51.3%
ASK（百万席キロ）	1,286	1,896	+47.4%	552	+38.1%
有償座席利用率（%）	70.1%	79.0%	+8.9pt	81.5%	+7.1pt
単価（円）(1)	15,675	20,054	+27.9%	23,846	+50.2%
イールド（円）(2)	14.7	13.6	▲7.8%	14.5	+3.5%
ユニットレベニュー（円）(3)	10.3	10.7	+4.0%	11.9	+13.3%

(1)単価=旅客収入/有償旅客数 (2)イールド=旅客収入/RPK (3)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

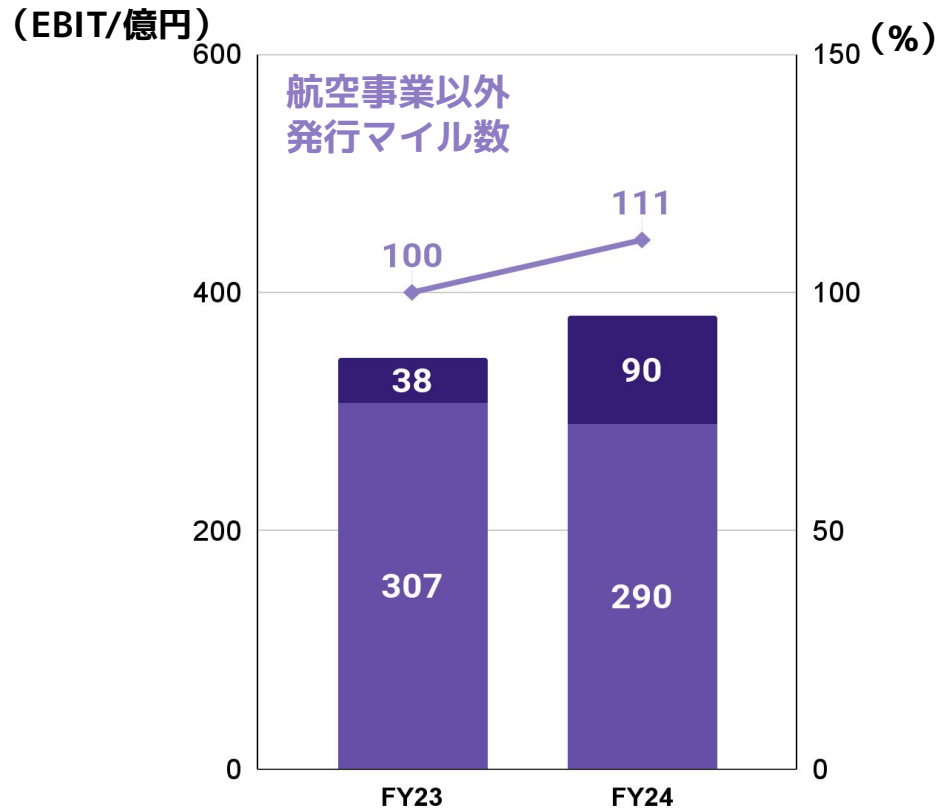
- こちらのページではLCCの実績をお示ししております。
- ZIPAIRは新たにヒューストン線への就航を開始いたしました。引き続き旅客数、収入共に順調に成長を続けております。
- また、スプリングジャパンにつきましても、中国発需要の回復などにより前年対比で大きく収入を伸ばすことができ、通期でも黒字化を達成しました。

2025年3月期 連結業績詳細

マイル/金融・コマー্স、その他（旅行・受託等）

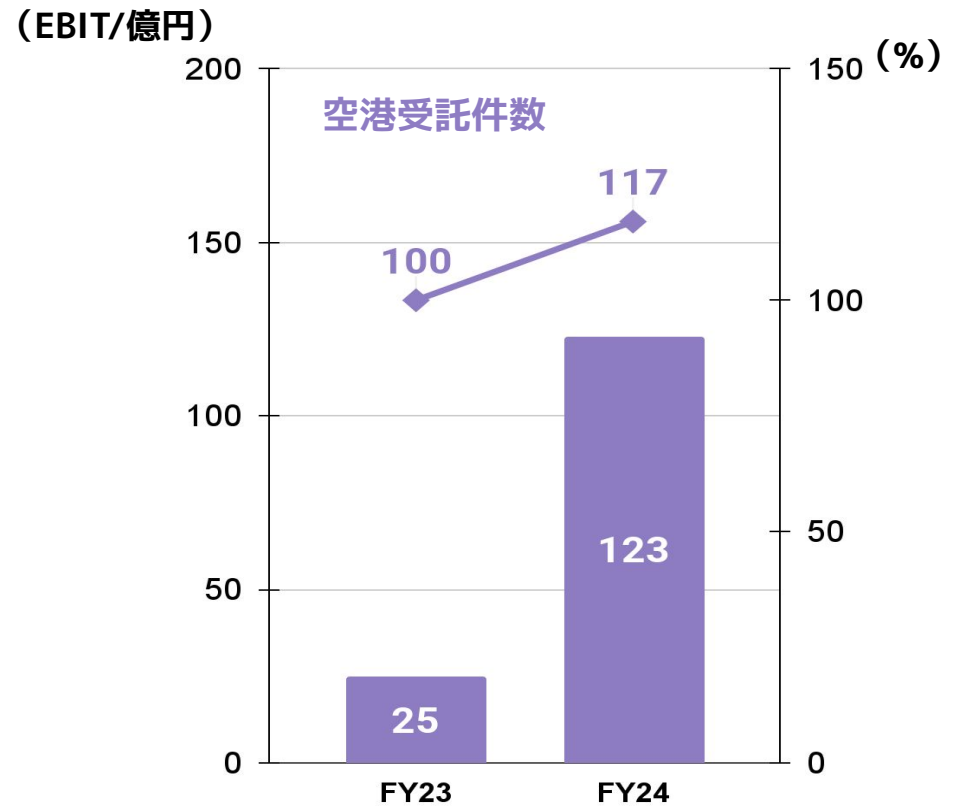
- ✓ マイル/金融・コマー্স事業は、マイル発行数が順調に伸張
- ✓ その他（旅行・受託等）は、グランドハンドリング受託事業が引き続き好調

マイル/金融・コマー্স事業EBIT およびマイル発行数の増減



◆ 航空事業以外での発行マイル数 (FY23Q4累計=100)
 ■ コマー্স 事業利益 ■ マイル/金融 事業利益

その他（旅行・受託等）EBIT および空港受託件数の増減



■ 利益 ◆ 受託件数 (FY23Q4累計=100)

- こちらのページではマイル/金融・コマーンス、その他の実績をお示ししております。
- マイル/金融・コマーンス事業においては、JALUXの増収やマイル発行数が順調に伸長しており、前年より増益となっております。
- また、その他の事業につきましても、グランドハンドリング受託が堅調に推移し、増益となりました。

2025年3月期 連結業績詳細 費用詳細



主要営業費用項目

(単位：億円)	累計				単独		
	FY23	FY24	前年同期差	前年同期比	FY24Q4	FY23	
						同期差	同期比
燃油費	3,567	3,800	+232	+6.5%	956	+50	+5.5%
運航施設利用費	723	880	+156	+21.7%	226	+38	+20.5%
整備費	1,243	1,472	+228	+18.3%	377	+64	+20.7%
航空販売手数料	260	313	+53	+20.5%	86	+11	+15.3%
サービス費(1)	468	570	+102	+21.9%	146	+21	+17.5%
他変動費(2)	2,137	2,450	+312	+14.6%	635	+97	+18.2%
機材費	1,386	1,258	▲128	▲9.2%	342	▲133	▲28.0%
人件費	3,340	3,634	+293	+8.8%	958	+55	+6.1%
その他の費用	2,294	2,554	+260	+11.3%	665	+64	+10.7%
営業費用合計	15,422	16,934	+1,511	+9.8%	4,397	+270	+6.6%

FSC (フルサービスキャリア) ユニットプロフィット

(単位：円)	累計			単独	
	FY23	FY24	前年同期差	FY24Q4	前年同期差
UR (ユニットレベニュー) (3)	14.2	14.9	+0.7	14.9	+1.2
UC (ユニットコスト) (4)	13.3	13.9	+0.5	14.7	+0.0
UP (ユニットプロフィット) (5)	0.9	1.0	+0.2	0.2	+1.2

(1) サービス費=機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他変動費=旅行・マイル提携・コマース・受託事業原価 など

(3) ユニットレベニュー= 旅客収入 ÷ ASK (4) ユニットコスト= (営業費用-旅客収入以外の収入) ÷ ASK (5) ユニットプロフィット=(ユニットレベニュー) - (ユニットコスト)

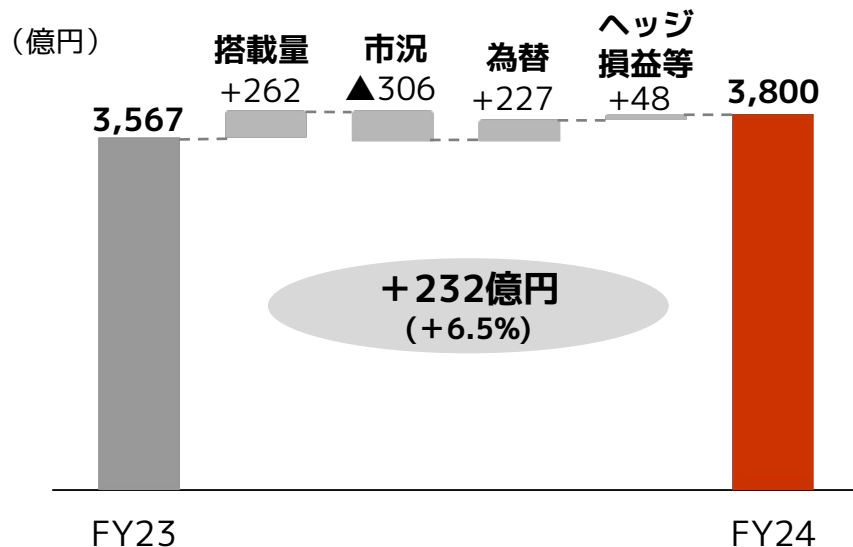
- こちらのページでは費用の詳細とユニットプロフィットについてご説明します。
- 円安の進行といった市況影響に加え、運航規模や旅客数に連動する費用や人件費をはじめとする各種費用が増加した結果、営業費用合計は前年より1,511億円増加し、1兆6,934億円となりました。
- ユニットプロフィットにつきましては、ユニットレベニュー、ユニットコストがともに上昇し、1.0となりました。ユニットレベニューの向上とともに、コストコントロールを通じたユニットコストの低減に努めてまいります。

2025年3月期 連結業績詳細

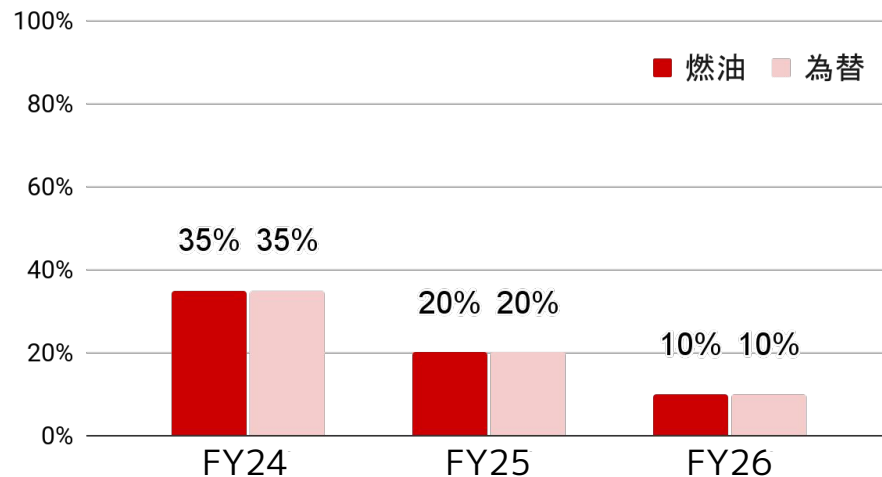
燃油費



燃油費増減の推移



燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2025年3月末時点)



燃油ヘッジ

燃油使用量



燃油
サーチャージ
收受

ヘッジ
対象

- 国内線使用量を対象にヘッジを実施、燃油市況変動に対応
- 国際線使用量は燃油サーチャージ收受にて対応

為替ヘッジ

外貨費用



外貨収入

燃油
サーチャージ
收受

ヘッジ
対象

- 国内線使用量の燃油費を対象にヘッジ実施、燃油費における為替市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりにより、外貨収入が燃油費を除く外貨費用を上回る

- こちらのページでは燃油費及びヘッジについてご説明します。
- 2025年3月期の燃油費は232億円増加の3,800億円でした。
- 右上のグラフは現在のヘッジの進捗状況をお示ししております。また、下段にはご参考までに当社の燃油及び為替のヘッジ量の概念図をお示ししております。

2025年3月期 連結業績詳細

財務状況・キャッシュフロー状況

BS ✓ 格付評価上の自己資本比率41.1%、ネットD/Eレシオ0倍と健全な水準を維持

CF ✓ 航空機投資が拡大する中でフリーキャッシュフローは黒字を維持

連結財政状態計算書	FY23期末	FY24期末	前期末差
総資産	26,492	27,949	+1,456
現金及び現金同等物	7,138	7,490	+351
有利子負債	8,872	8,960	+87
1年内返済	1,069	945	▲123
自己資本(1)	9,099	9,750	+651
自己資本比率 (%) (2)(5)	34.3% (41.0%)	34.9% (41.1%)	+0.5pt (+0.2pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	1.0x	0.9x	▲0.1x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(5)	0.2x (▲0.0x)	0.2x (▲0.0x)	▲0.0x (▲0.0x)
ROIC (%) (6)	7.3%	8.1%	+0.8pt
ROE (%) (7)	11.1%	11.4%	+0.3pt

(億円)

連結キャッシュフロー計算書	FY23	FY24	前年同期差
営業キャッシュフロー	3,639	3,815	+175
減価償却費	1,475	1,558	+82
投資キャッシュフロー	▲1,950	▲2,811	▲860
投資・出資額	▲2,210	▲2,972	▲761
フリーキャッシュフロー (8)	1,688	1,004	▲684
財務キャッシュフロー	▲1,050	▲649	+401
キャッシュフロー合計 (9)	638	355	▲283
EBITDA (10)	2,927	3,282	+354

- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金および現金同等物)/自己資本
- (5) ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の数値
- (6) ROIC=EBIT(税引後)/期首・期末固定資産*平均
*固定資産=棚卸資産+非流動資産-繰延税金資産-退職給付に係る資産
- (7) ROE=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末自己資本平均(普通株式に係るもの)
- (8) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
- (9) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
- (10) EBITDA=EBIT+減価償却費



INTENTIONALLY LEFT BLANK



1. 2025年3月期 業績概要
2. 2025年3月期 業績詳細
3. **参考資料**

参考資料

国際線大路別実績（フルサービスキャリア）



旅客収入				
(単位:%)	累計		単独	
	FY24構成比	FY23比	FY24Q4 構成比	FY23Q4比
米大陸線	38%	+19.8%	36%	+22.7%
欧州線	17%	+15.6%	16%	+23.7%
アジア・オセアニア線	31%	+5.5%	34%	+12.1%
中国線	6%	▲0.2%	6%	+21.4%
ハワイ・グアム線	8%	+6.3%	8%	+11.4%
全路線	100%	+11.9%	100%	+18.0%

ASK				
(単位: 百万席キロ)	累計		単独	
	FY24	FY23比	FY24Q4	FY23Q4比
米大陸線	18,249	+2.0%	4,504	+0.7%
欧州線	7,957	+16.4%	1,896	+16.7%
アジア・オセアニア線	16,432	+3.3%	4,248	+8.6%
中国線	2,485	+12.3%	671	+23.4%
ハワイ・グアム線	4,846	+8.4%	1,203	+0.3%
全路線	49,971	+5.6%	12,524	+6.6%

RPK				
(単位: 百万人キロ)	累計		単独	
	FY24	FY23比	FY24Q4	FY23Q4比
米大陸線	15,487	+10.7%	3,852	+15.6%
欧州線	6,689	+24.9%	1,610	+35.8%
アジア・オセアニア線	13,866	+7.5%	3,828	+17.3%
中国線	1,876	+36.9%	548	+47.4%
ハワイ・グアム線	3,995	+11.5%	1,077	+16.8%
全路線	41,916	+12.7%	10,917	+20.3%

有償旅客数				
(単位:千人)	累計		単独	
	FY24	FY23比	FY24Q4	FY23Q4比
米大陸線	1,654	+10.2%	412	+15.5%
欧州線	726	+27.4%	174	+39.4%
アジア・オセアニア線	3,527	+8.5%	958	+13.8%
中国線	983	+40.0%	291	+52.8%
ハワイ・グアム線	691	+14.8%	191	+20.1%
全路線	7,584	+14.4%	2,027	+21.1%

有償座席利用率				
(単位:%)	累計		単独	
	FY24	FY23	FY24Q4	FY23Q4
米大陸線	84.9%	78.2%	85.5%	74.5%
欧州線	84.1%	78.3%	84.9%	73.0%
アジア・オセアニア線	84.4%	81.1%	90.1%	83.4%
中国線	75.5%	61.9%	81.7%	68.3%
ハワイ・グアム線	82.5%	80.1%	89.5%	76.9%
全路線	83.9%	78.6%	87.2%	77.2%

参考資料

航空機一覧



			前期末 2024/3/31			当期末 2025/03/31			増減
			所有	リース	合計	所有	リース	合計	
フルサービスキャリア	大型機	Airbus A350-1000	3	0	3	7	1	8	+5
		Airbus A350-900	11	4	15	11	4	15	0
		Boeing 777-300ER	13	0	13	12	0	12	▲1
		大型機 小計	27	4	31	30	5	35	+4
	中型機	Boeing 787-9	19	3	22	19	3	22	0
		Boeing 787-8	23	0	23	23	0	23	0
		Boeing 767-300ER	16	9	25	24	0	24	▲1
		中型機 小計	58	12	70	66	3	69	▲1
	小型機	Boeing 737-800	47	9	56	49	7	56	0
		小型機 小計	47	9	56	49	7	56	0
	リージョナル機	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	0	32	0
		De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	0	5	0
		ATR42-600 / ATR72-600	14	1	15	14	1	15	0
		リージョナル機 小計	51	1	52	51	1	52	0
	貨物機	Airbus A321-200	0	2	2	0	3	3	+1
Boeing 767-300ER		0	2	2	3	0	3	+1	
貨物機 小計		0	4	4	3	3	6	+2	
フルサービスキャリア 合計			183	30	213	199	19	218	+5
LCC	Boeing 787-8	8	0	8	8	0	8	0	
	Boeing 737-800	0	6	6	0	6	6	0	
	LCC合計	8	6	14	8	6	14	0	
総計			191	36	227	207	25	232	+5

参考資料

2026年3月期 通期連結業績予想



(単位：億円)	FY24	FY25		
	実績	予想	FY24差	FY24比
売上収益	18,440	19,770	+1,329	+7.2%
フルサービスキャリア	14,518	15,250	+731	+5.0%
国際旅客収入	6,965	7,150	+184	+2.7%
国内旅客収入	5,716	5,830	+113	+2.0%
貨物郵便収入	1,630	1,890	+259	+15.9%
その他収入	205	380	+174	+85.1%
LCC	1,041	1,250	+208	+20.0%
マイル/金融・コマース	2,003	2,260	+256	+12.8%
その他（旅行・受託等）	2,523	2,900	+377	+15.0%
連結調整額	▲1,644	▲1,890	▲245	+14.9%
営業費用	16,934	18,080	+1,145	+6.8%
燃油費	3,800	4,050	+249	+6.6%
燃油費以外	13,134	14,030	+895	+6.8%
その他収支	218	310	+91	+41.9%
EBIT	1,724	2,000	+275	+16.0%
フルサービスキャリア	1,111	1,170	+58	+5.3%
LCC	115	190	+74	+64.0%
マイル/金融・コマース	381	510	+128	+33.8%
その他（旅行・受託等）	123	150	+26	+21.0%
連結調整額	▲7	▲20	▲12	-
純利益	1,070	1,150	+79	+7.4%

2026年3月期 通期連結業績予想詳細

EBIT増減の科目別推移(収入／費用)

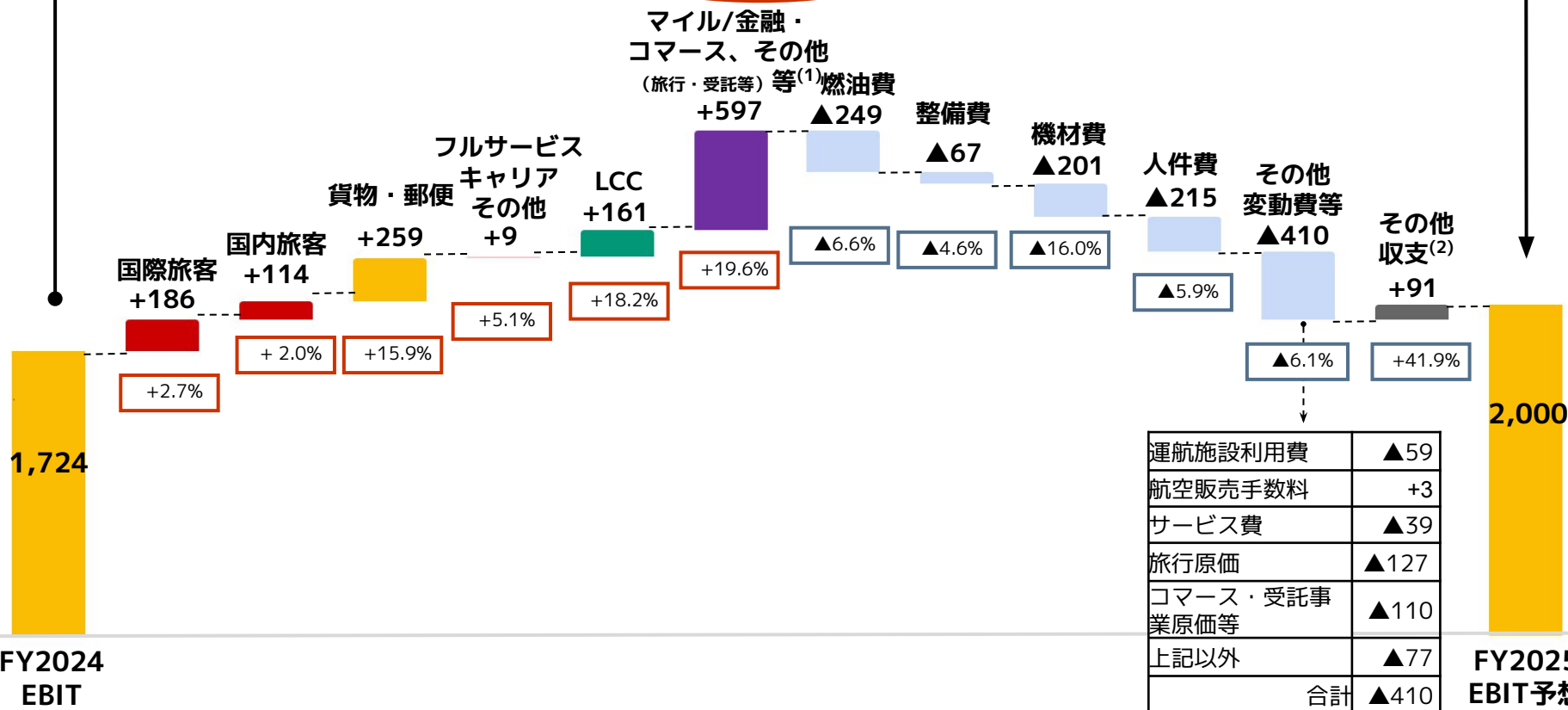


RPK前年同期比： +4.0%
ASK前年同期比： +4.0%

+は利益増(収入増・費用減)
▲は利益減(収入減・費用増)を意味する

+275億円

(億円)



(1) マイル/金融・コマーシ、その他(旅行・受託等)等=マイル提携・コマーシ・旅行・受託事業収入等

(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

2026年3月期 通期連結業績予想

国際・国内旅客事業（フルサービスキャリア）



国際旅客事業	FY24	FY25 予想	FY24比 (%)		
			通期	上期	下期
旅客収入（億円）	6,963	7,150	+2.7%	+4.3%	+1.2%
有償旅客数（千人）	7,584	7,960	+5.0%	+8.4%	+1.8%
RPK（百万人キ口）	41,916	44,705	+6.7%	+9.8%	+3.7%
ASK（百万席キ口）	49,971	52,505	+5.1%	+6.5%	+3.7%
有償座席利用率（%）	83.9%	85.1%	+1.3pt	+2.5pt	+0.0pt
単価（円）(1)	91,814	89,866	▲2.1%	▲3.8%	▲0.6%
イールド（円）(2)	16.6	16.0	▲3.7%	▲5.1%	▲2.7%
ユニットレベニュー（円）(3)	13.9	13.6	▲2.2%	▲2.2%	▲2.3%

国内旅客事業	FY24	FY25 予想	FY24比 (%)		
			通期	上期	下期
旅客収入（億円）	5,715	5,830	+2.3%	+3.4%	+0.7%
有償旅客数（千人）	36,127	36,370	+0.8%	+3.7%	▲2.1%
RPK（百万人キ口）	27,666	27,684	+0.3%	+3.1%	▲2.7%
ASK（百万席キ口）	35,082	35,085	+0.1%	+0.1%	▲0.1%
有償座席利用率（%）	78.9%	78.9%	+0.0pt	+2.2pt	▲2.2pt
単価（円）(1)	15,819	16,018	+1.3%	▲0.3%	+2.7%
イールド（円）(2)	20.7	21.0	+1.9%	+0.3%	+3.1%
ユニットレベニュー（円）(3)	16.3	16.6	+1.9%	+3.2%	+0.7%

(1) 単価=旅客収入/有償旅客数 (2) イールド=旅客収入/RPK (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

2026年3月期 連結業績予想 財務状況・キャッシュフロー状況



連結財政状態計算書	FY24期末	FY25期末予想	前期末差
総資産	27,949	29,850	+1,900
現金及び現金同等物	7,490	9,490	+1,999
有利子負債	8,960	8,360	▲600
自己資本(1)	9,750	12,340	+2,589
自己資本比率 (%) (2)(5)	34.9% (41.1%)	41.4% (41.2%)	+6.5pt (▲0.1pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	0.9x	0.7x	▲0.2x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(5)	0.2x (▲0.0x)	▲0.1x (▲0.1x)	▲0.2x (▲0.1x)
ROIC (%) (6)	8.1%	9.0%	+0.9pt
ROE (%) (7)	11.4%	11.3%	▲0.1pt

(億円)

- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金および現金同等物)/自己資本
- (5) ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の数値
- (6) ROIC=EBIT(税引後)/期首・期末固定資産*平均
*固定資産=棚卸資産+非流動資産-繰延税金資産-退職給付に係る資産
- (7) ROE=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末自己資本平均(普通株式に係るもの)
- (8) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
- (9) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
- (10) EBITDA=EBIT+減価償却費

連結キャッシュフロー計算書	FY24	FY25予想	前年同期差
営業キャッシュフロー	3,815	3,480	▲335
減価償却費	1,558	1,670	+111
投資キャッシュフロー	▲2,811	▲2,030	+781
投資・出資額	▲2,972	▲2,200	+772
フリーキャッシュフロー (8)	1,004	1,450	+445
財務キャッシュフロー	▲649	550	+1,199
キャッシュフロー合計 (9)	355	2,000	+1,644
EBITDA (10)	3,282	3,670	+387

- 最後に、今期FY25期末のバランスシートとキャッシュフロー予想についてこのページで説明いたします。
- 2026年3月末の自己資本比率は41.4%、同じくネットDEレシオはマイナスとネットキャッシュリッチとなる予想です。
- また、3月末時点での手元現預金は9,490億円となり、既存のハイブリッドファイナンスの返済や今後の投資に向けて十分な金額を保持しております。
- キャッシュフローですが、営業キャッシュフローは3,480億円のキャッシュインフローを予想しております。また、投資が拡大している中、フリーキャッシュフローも1,450億円の黒字となっております。

燃油・為替の市況変動による2026年3月期の利益影響

(ヘッジ、燃油サーチャージ等込み)



(億円)	燃油市況 (USD/bbl)	ドバイ 原油	65ドル	70ドル	75ドル	80ドル	85ドル
		シンガポール・ ケロシン	80ドル	85ドル	90ドル	95ドル	100ドル
為替 (円/USD)	135円		+110	+60	+100	▲20	+10
	140円		+90	▲30	±0	▲30	±0
	145円		±0	▲30	予想前提 ±0	▲120	▲100
	150円		+10	▲120	▲90	▲130	▲140
	155円		▲60	▲100	▲170	▲210	▲230

※本表は、燃油市況（シンガポール・ケロシン）及び為替の変動により、燃油サーチャージ収入及び燃油費が増減することで、当社の2026年3月期の利益がどのように変動するかを示しております。

なお、2025年5月までの燃油サーチャージテーブルは確定しており、これを反映済みです。

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社とあわせて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。